

2014 年度「会計学基礎 b」講義(石川)の論点整理のために

毎回の講義での重要な点などを、設問のかたちで示しておきます。講義の論点整理および(小テスト)・本テスト対策に役立ててください。答えはすべてテキストのなかにあります。

※講義の理解のために3つの役立ち→①テキストの復習、②講義のカラーズライド、③放送大学「社会のなかの会計」(TV地上デジタル12ch 放送)の第6回～第12回。

※テキスト(前期 a と同じ): 斎藤・石川『社会のなかの会計』

※難易度: A=上級、B=中級、C=初級

● 第6章 企業会計の基本的な考え方

—「企業会計原則の立脚点—

(放送大学第6回スライド)

Q 1 (議論の出発点とその重要性): 「議論の出発点」の議論とは、そもそもいかなる議論ですか(C)。出発点を定めることがなぜ重要なのですか(A)。そして、その出発点として具体的に何をもってきたか(C)。さらに、それをもってくることに異論はなさそうですが、その理由はなんですか(B)。

Q 2 (知識の学習と理解の学習): 学習のレベルとはどういうレベルですか(C)。そのこと(レベルの相違)を知っておくことの大切さはどこにありますか(B)。

Q 3 (動態論の基本に関して1): 静態論と比較する理由はどこにありますか(B)。

Q 4 (動態論の基本に関して2): 費用と資産の関係はどうなっていますか(B)。さらに損益計算P/Lと貸借対照表B/Sとの関係は理解できましたか(A)。

Q 5 (動態論の基本に関して3): スライド6の図の6千万からの太字矢印は何を表していますか(B)。

Q 6 (動態論の基本に関して4): 費用の「かたまり」とはどういうことを言っていますか(B)。ヒント: フローとストックの後先。

Q 7 (動態論の基本に関して5): 動態論の思考が「天動説」から「地動説」に匹敵するコペルニクス的転回であることの意味を述べなさい(B)。

Q 8 (損益計算書原則1 Aについて1): 2つの異なるフローが示されているが、それは何か(B、カラーでの色分けがヒント)。その2つの関係はどうなっているか(A)。さらに、ストック(資産・負債)は表立ってでていないが、暗黙に示唆されている。それはどういうことか(A+)。

Q 9※(損益計算書原則1Aについて2): Q 8を具体的に減価償却で説明せよ(A)。

Q 10(動態論会計の目的とリアリティー)テキスト12ページの「リアリティー」とは
どういうことですか(C)。その点は動態論会計とどう関わりますか(B)。

Q 11※(繰延資産について): ①先の有形固定資産と繰延資産の異同について述べよ。特
に資産としての本質が同じとはどういうことですか。(B+)

②その名称にこそ動態論の本質が出ているという点を説明しなさい(B+)。

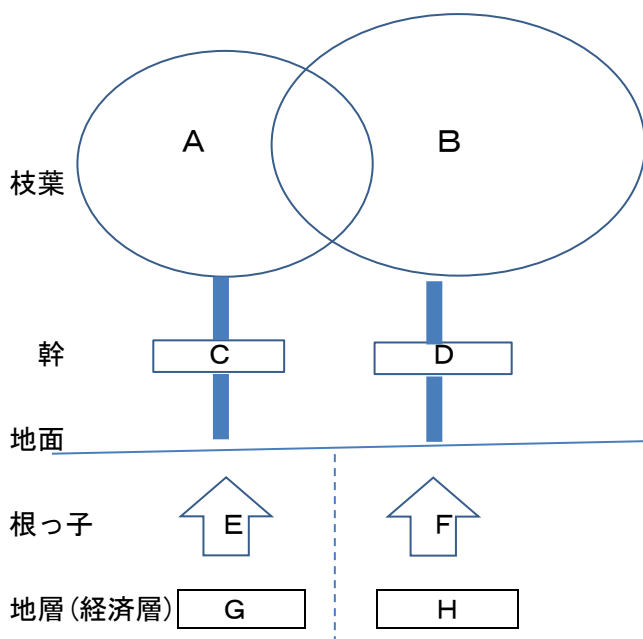
Q 12(常識と理論)理論の意義について簡単に述べなさい。動態論の思考がコペルニク
スの転回といわれる理由を述べなさい。(C)

また「天動説」と「地動説」は何にたとえていますか(C)。

Q 13(変容のモーメント)動態的契機とはそういう意味ですか(B)。それと「理解する」
とはどうつながりますか(B)。

Q 14(史的俯瞰)史的俯瞰の重要性について述べなさい(B)。

Q 15(常識と理論)下の図は何を説明していますか。A~Hに適切な言葉を入れること
で応えなさい(B)。(講義で板書します)



Q 1 6 (会計史家ウルフの言葉から)

- 1) ウルフの言葉は何をいわんとしているか、述べなさい。(B)
- 2) Q 1 5の図では、どこかかわりますか、記号で答えなさい (B)

Q 1 7※ (無形資産と時価会計)

繰延資産の資産性が消えていくことと、時価会計の浸透について述べなさい。ヒント：
無形なるものと時価付与 (A)

● 第7章 時価会計の浸透 (1) —金融商品会計の論点—
(放送大学第7回スライド)

Q 1 9 (企業会計原則と不変の構造)「不変の構造」とはどういう構造ですか。それが「不変」と言われるのはなぜですか、4回の修正との関連で述べなさい (B)。

Q 2 0 (「企業会計原則」修正の延長上) 延長上にあるか、この主語はなんですか (C)。
また、そのように問うことの意味はどこにありますか (B)。

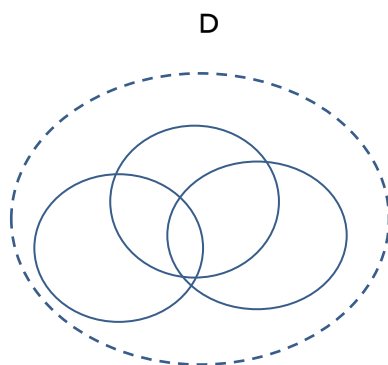
Q 2 1 (棚卸資産と有価証券の同格性と制度要請) 同格性の根拠を見ることがなぜ必要なのですか。(B)

Q 2 2 (未実現収益の禁止) スライド9での2つの赤字矢印が互いに逆向きになっていることの意味を説明しなさい。(B)

Q 2 3 (有価証券の経済的基礎) 有価証券の経済的基礎を述べなさい (B)。そこに直目する理由はどこにありますか (A)。

スライド以外 (板書、口頭など) :

会計学に学習にとって重要な視点 : 3つの円 (A、B、C) と1つの点線円Dに適切な用語を入れなさい。



- A ()
B ()
C ()
D ()

Q24 (開示と計算) ここで、「計算」と何ですか、「開示」とは何ですか(C)。
スライド13の赤字の矢印について、現代会計の特徴をふまえて説明しなさい(A)。

Q25 (理論の場) 理論の場とは、どういうことですか(B)。なぜ理論の場というものを持ち出すのか、つまりそのことを議論するのはなぜ必要ですか、現代会計の特徴をふまえて説明しなさい(B)。

Q26※ (後入先出法の廃止) 2つの実態とは、どういう実態ですか。フローとストックの観点から述べてみなさい(B)。

また、それぞれ2つの方法を計算と開示の観点から、2つの実態を踏まえて、説明しなさい(A)。

● 第8章 時価会計の浸透(2) -退職給付会計の論点-
(放送大学第8回スライド)

Q27 (引当金の考え方: その1) 引当金の考え方を説明しなさい。(B)

Q28 (引当金の考え方: その2) 減価償却費との異同を説明しなさい。(B+)

Q29 (退職給付会計と引当金の比較) 退職給付会計での費用の捉え方を、Q27の引当金と対比して説明しなさい。(B)

Q30 (「企業会計原則」との整合性) スライド11の図は何を説明しようとしているか。同じく、スライド13は何を説明しているか。

以上より、「企業会計原則」に照らして、2つの新基準の特徴を述べなさい。(B+)

Q31 (PVの計算)

複利計算とPV計算の関係を説明しなさい。(C)

割引率が下がると、PVの値はどうなりますか。(C)

Q32 (時価会計の特徴: その1)

再測定とはどういうことですか。第2章の金融商品会計と第3章の退職給付会計でもって説明しなさい。(B)

Q33 (時価会計の特徴: その2)

リセットとはどういうことですか。伝統的な原価主義会計と比較して述べなさい。(B)
減価償却のケースでもって説明しなさい。(B)

Q34※ (原価主義会計と配分計算)

原価主義会計の特徴である配分計算について、それが可能な条件(前提になる条件)をQ33の時価会計の特徴と対比して説明しなさい。(B+)

Q 3 5 (「水の会計」と「油の会計」)

2つの会計の関係を2つの円でもって示しなさい。そのさい、Q 1 5を立体的な図として描けるかどうか考えてみよう。(A)

Q 3 6 (未払金との相違)

退職給付債務は「賃金後払説」に拠っていますが、未払金との相違を説明しなさい。(A)